

10.08.03
飯田市
歴研ニュース

News Letter

No. 47

The Iida City Institute of Historical Research

飯田市歴史研究所

〒395-0002

長野県飯田市上郷飯沼3145

TEL 0265-53-4670

FAX 0265-21-1173

E-mail iih@city.iidanagano.jp



第8回を迎える今年度は、旧飯田町・上飯田町地域の全体史叙述編『飯田・上飯田の歴史』（仮題）刊行に向けて、「城下町飯田」をテーマに開催します。

地域史研究集会直前に開催される「共催円座 伝統都市の比較史」（都市史研究センター主催）においては、17世紀から城塞を核とした都市として栄え小規模都市として現在に至っている、飯田とシャルルヴィルの多様な文化的個性への理解を相互に深め合うことをねらいに史学交流を行います。

8/21(土) シンポジウム
伝統都市を比較する—飯田とシャルルヴィル—

- 13:00 開会 歴研賞授賞式
- 13:30 吉田伸之 飯田城下町の形成過程
- 14:15 フランソワ=ジョゼフ・ルッジウ 君侯の都市
- 15:00 休憩・ミニコンサート
- 15:30 コメント 伊坪達郎
- 15:50 コメント ギヨーム・カレ
- 16:10 質疑応答



飯田市友好都市
シャルルヴィル・メジエール市

8/22(日) 飯田・上飯田—近世から現代へ—

- 9:30 多和田雅保 上飯田村の「町貫」について
- 10:10 田中雅孝 戦前期飯田町の商工自営業者層の構成

研究報告

- 11:00 飯田高等学校図書委員会 生徒目線の飯田高校110年史
- 11:40 休憩
- 13:00 宮下裕司 飯田の出版文化～その源流をたどる～山村書院と山村正夫—
- 13:40 原 英章 平岡ダム工事における外国人強制連行・強制労働—中国人・朝鮮人を中心として—
- 14:20 小島庸平 大恐慌期における在来的金融組織と農村負債整理事業—座光寺村を事例として—

関連企画

とらっど3 ラウンドテーブル
都市史研究センター (Trad3)+ 歴史研究所共催円座

伝統都市の比較史

総司会=ギヨーム・カレ氏 (フランス高等社会科学研究院) 森下 徹氏 (山口大学)
通 訳 =竹下和亮氏 (国際基督教大学) ほか

8/19(木) 小規模伝統都市論
—飯田とシャルルヴィル—

8/20(金) 伝統都市の周縁

9:30~11:20
セッション1
問題提起
高澤紀恵 (国際基督教大学)
都市を比較する
吉田伸之 (東京大学)
小規模伝統都市

9:30~11:20
セッション4
芸能
メラニー・トラヴェルシエ
(リセ・ヴィクトルユゴー校)
パリの芸術街の歴史
吉田ゆり子 (東京外国語大学)
人形芝居と万歳楽
—芸能の担い手と地域社会—

13:00~14:50
セッション2
移動
フランソワ=ジョゼフ・ルッジウ (パリ第4大学)
18世紀のシャルルヴィル住民
—人口史、家族史、社会史による研究—
竹ノ内雅人 (歴史研究所)
近世後期飯田町の人口動態と社会構造

13:00~14:50
セッション5
周縁
アラン・ティレ (リセ・アンリ4世校)
パリの貧民救済—18世紀前半における
サント=マルグリット愛徳婦人会—
塚田 孝 (大阪市立大学)
近世後期・大坂における非人の「家」

15:00~16:50
セッション3
空間
ユリ・カルボニエ (アルトワ大学)
シャルルヴィルにおける都市空間の形成と
発展—君侯による創設から鉄道の到来まで—
江下以知子 (東京大学)
城下町改造と武家地

15:00~16:50
セッション6
総括討論
伊藤 毅 (東京大学)
杉森哲也 (放送大学)
西坂 靖 (専修大学) ほか

第八回飯田市地域史研究集会

城下町飯田

会場 飯田信用金庫 2階大会議室
参加費 五〇〇円 資料代 高校生以下無料 事前申込み不要

お知らせ
パブリックコメント

『飯田・上飯田の歴史』（仮題）刊行計画（案）について、市民の皆さんのご意見を募集する予定です。詳細は後日ホームページにてお知らせいたします。

1947（昭和22）年の大火によって、飯田の町並みとともに多くの町や商家の史料が失われました。町の行政、人々の営み、それらをじかに浮き彫りにする史料は少ないものの、公的機関や団体、個人で所蔵されている史料を丁寧に読み解き、比較することで、かつての飯田町の有り様に迫ろうと調査や研究に取り組んでいます。

たとえば「十八町家並帳」という、町に立ち並ぶ屋敷や土地の所有者をあらわした著名な史料があります。これがほぼ30年間隔で現存しており、これを年代順にならべると、その町の変化を見て取ることが可能になります。松尾町通りですと、1760年代までは大工やお椀の木地、樽、桶などを扱う木工業者の名前が記載されていました。それが1790年代になるとこうした人々の名前が減り、1830年代にはほとんど見られなくなります。また飯田町役人の記録をみると、1740年代から松尾町通りが衰退のため、藩に青物商売の独占を願い出ている史料があります。こうした変化はなぜ起こってくるのか？ 大工らはどこへ行ってしまうのか？ ばらばらに保管されている史料を紡ぎ合わせて、細かく読みこむと、そこから何かが見えてくる。そんなことを日々実感しているところです。こうした研究成果の詳細については8月に行われる共催円座で報告いたします。そのほかの飯田町に関する研究は研究集会でも報告されますので、興味のある方はぜひおいで下さい。

7/6～8 **3日間** 緑ヶ丘中学校2年生

職場体験学習

at 歴史研究所

襖はがし作業 ▼

古い襖や屏風の内側には古文書が貼られています。水に濡らして糊を溶かした襖から史料を1枚ずつはがして板に張り、乾かす作業を行いました。



古文書目録入力 ▲

歴史資料となる古文書の目録について、パソコン入力作業を行いました。初めて古文書を目にして、細かい入力作業を体験しました。



マイクロフィルム撮影作業 ▶

古文書を複製保存する作業の体験です。1枚1枚の状況記録をしながら撮影補助を行いました。



市民の声

道と通路

松澤卓治（建築史ゼミナール／上飯田）

大火でそのほとんどすべてを焼失してしまった通称「丘の上」。あちこち歩き廻っていると、広い道路で防火区画が出来、地方都市にしては、明るくきれいに整備された、でもちょっと懐かしさに欠ける（私が勝手に思い描いていたものとは違う）、街並みが見えます。

人は車がやっとすれ違える位の道幅に安心感を覚えるような気がします。今、各所で賑わいを取り戻している昔の街並みもあまり道幅の広いものは無いようです。ちょっと覗いてみたくなる路地があり、人が触れ合うように歩く広さの通りや店の人や通りを歩く人の声が聞こえる位の道は、丘の上にもまだたくさん残っています。この道をうまく活かし、楽しい通りが出来ないかと思い、街を歩き廻っています。

今までは建物を見るとき、「時代を経てきているんだな。補修も大変だろう。」こんな程度の興味本位の感覚で見えていました。建て方には当時のファッションがあり、なぜ屋根はこの形になり、この大きさになったのか。なぜ2階が作られたのか、なぜここに段差があるのかなど。解説が無ければ知らなかったことばかり。

建築史ゼミでは古い建物を解説付きで見学できます。その時代や年代に建て方の特徴があり、生活背景がこの建て方を要求し、建築材料が建て方を可能にした。こんな解説を聞きながら建物の外観や内部を見学して行く時、その建物にあたかも今人が生活をしているような想像が出来、面白さにはまっています。

新刊紹介



飯田市歴史研究所

第7回飯田市地域史研究集会の記録

特集	「アジア・太平洋戦争にいたる道—霞ヶ関と飯田から—」
講演	歴史的にみた日中戦争の特殊性／加藤陽子（東京大学教授） 信州郷軍同志会と日中戦争／須崎慎一（神戸大学教授） 昭和10年代の教育と人々の暮らし／仲田文之助（飯田市）
小特集	「河野村長 胡桃澤盛について」
研究報告要旨	父を語る／胡桃澤健（豊丘村） 「胡桃澤盛日記」の可能性／橋部進（飯田市） 「大人への一步 社会へ挑戦」西中チャレンジウィークの取り組みについて／飯田市立西中学校3年生 「西に向かう牛群」—満蒙開拓の記憶と画家仲村進一／横村洋介（飯田市美術博物館）
論文	虎岩郷の天正検地と土地制度／牧原成征（宇都宮大学准教授） 旗本近藤家の明治維新／池田勇太 飯田・下伊那をめぐる、「非勢力圏」への人口移動／本島和人
研究ノート	近世座光寺村における「分村」問題—「舞台校舎」建設の歴史的前提—／多和田真理子 座光寺村の庄屋役の変遷と村方騒動のかかわり／今村善興
史料で読む飯田・下伊那の歴史	国民学校児童から出征兵士への慰問文／本島和人
ポイントでまなぶ飯田・下伊那の歴史	飯田城下町のなりたちと発展／竹ノ内雅人
調査報告	戦後愛知県鍋田干拓調査報告／森武彦、齊藤俊江、向山敦子 飯田・下伊那の本棟造—本棟造調査中間報告2—／金澤雄記
その他	新刊紹介・書評・展示評、年報7号を読む、歴史研究所新刊紹介、研究活動助成成果概要、歴史研究所アカデミア・ゼミナール記録

年報 8 2010年

B5判 292頁 定価1800円

飯田市歴史研究所 編

2010年8月10日刊行

問い合わせ 飯田市歴史研究所 TEL 0265-53-4670 FAX 0265-21-1173

歴研ゼミ

8月・9月の予定

実践的に歴史研究の方法を学ぶ講座です。各ゼミでは随時受講生を受け入れています。

思想史ゼミ

■開催日
8月 4日
9月 1日・15日
(第1・第3水曜日)

※8月第3水曜日は休講です。

■担当
池田勇太（研究員）

近世史ゼミ

■開催日
8月 3日・24日
9月 7日・28日
(第1・第3火曜日)

※8月第3火曜日は、第4火曜日の24日に変更します。

※9月第3火曜日は、第4火曜日の28日に変更します。

■担当
竹ノ内雅人（研究員）

近現代史ゼミ

■開催日
9月 9日
(第2・第4木曜日)

※8月は両日休講です。

※9月第4木曜日は祝日のため休講です。

■担当
田中雅孝（調査研究員）

建築史ゼミ

■開催日
9月14日（第2火曜日）

※8月は休講です。

■担当
金澤雄記（研究員）

■時間 午後7時～8時40分
(各ゼミ共通)

■場所 歴史研究所2階研修室
(各ゼミ共通)

2010年度中期

飯田アカデミアを開講します

専門の研究者を講師に、歴史研究の最前線を分かりやすく講義します。各講座は1日のみの聴講も可能となっています。ぜひ、ご参加ください。

第59講座

9月4日(土)

13:30～17:00

講師 三枝 暁子（みえだ あきこ）さん
(立命館大学文学部准教授)

テーマ「地域史と京都学」

第60講座

10月30日(土)

10月31日(日)

13:30～17:00

10:00～14:30

講師 金 早雪（キム・チョソル）さん
(信州大学経済学部教授)

テーマ「分断下、韓国の<民権国家>への歩み」

会場 りんご庁舎3階会議室（飯田市本町1丁目15番地 飯田市地域交流センター）

定員 各講座30人

受講料 1講座 500円（資料代）

申込み 電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申込みください。

ながの電子申請サービス (<http://shinsei.e-nagano.lg.jp>) でもお申込みできます。

歴研日誌

6月

- 1日 歴研ニュース46号発行
- 1日 近世史ゼミ「澄月の座光寺為忠(独翁)公宛書簡より」
- 2日 思想史ゼミ「坂口安吾『続墮落論』」
- 5・6日 飯田アカデミア第56講座「城下町萩の社会構造」
—森下徹さん(山口大学教育学部教授)(りんご庁舎3階会議室)
- 5日 第1テーマ「萩の町と町人」
- 6日 第2テーマ「城下町と武士」
- 7日 『飯田・上飯田の歴史』上巻編集会議
- 8日 建築史ゼミ「文字」
- 9日 史料整理レクチャー1「史料整理の基本的考え方と諸問題」
「史料細胞現状記録・目録作成方法」
- 9日 国際アーカイブズ記念講演会出席(都内)
- 10日 第1回胡桃澤盛日記刊行会
- 10日 近現代史ゼミ「大正12年の南信新聞と胡桃沢日記」
- 12・13日 明治維新史学会大会出席—池田勇太研究員(駒澤大学)
- 15日 近世史ゼミ「追い剥ぎに遭った飯田の商人」
- 16日 思想史ゼミ「大塚久雄「近現代人間類型の創出」
- 16日 史料整理レクチャー2
「表題欄(原表題・書き出し・仮表題・内容)の記入方法」
- 16日 南信濃役場文書整理事業打合せ(南信濃自治振興センター)
- 18日 こども取材教室打合せ(信濃毎日新聞社)
- 19・20日 飯田アカデミア第57講座「近世バリに生きる」
—高澤紀恵さん(国際基督教大学教養学部教授)(りんご庁舎3階会議室)
- 21日 『飯田・上飯田の歴史』下巻編集会議
—池田・竹ノ内研究員・本島調査研究員(國學院大學)
- 21・22日 「飯田・下伊那における学校史料と地域社会に関する基盤的研究」
運営に関する全体会議
—竹ノ内・池田研究員・本島調査研究員(國學院大學)
- 23日 「地域と世界」講座サポーター講義
「長野県農業と満州移民」
—本島和人調査研究員(松本大学松商短期大学部)
- 23日 長野県史料保存活用連絡協議会総会・講習会出席
(高遠町図書館)
- 24日 近現代史ゼミ「大正12年の南信新聞と胡桃沢日記」
- 25日 追手町小学校史料調査
- 25日 こども取材教室打合せ(信濃毎日新聞社)
- 26日 定例研究会「飯田・下伊那の本棟造2」
—金澤雄記研究員
- 22日～ 市役所非現用文書移管作業

7月

- 3日 こども取材教室「マナブと聞く『満蒙開拓』」
—本島和人調査研究員・齊藤俊江客員研究員(飯田市民館)
- 3・4日 飯田アカデミア第58講座「関東大震災」
—鈴木淳さん(東京大学大学院准教授)
(上郷考古博物館1階会議室)
- 3日 第1テーマ「震災の概況と研究状況」
- 4日 第2テーマ「震災直後の対応と教訓」
- 3・4日 第12回国際日本家相学シンポジウム報告
「家相図と建築—飯田・下伊那地域の事例報告」
—金澤雄記研究員(お茶の水女子大学)
- 6～8日 職場体験実習受け入れ(緑ヶ丘中学2年生)
- 7日 思想史ゼミ「都留重人『科学と政治』」
- 8日 近現代史ゼミ「文献講読『昭和の記憶を掘り起こす』」
- 11日 『飯田・上飯田の歴史』下巻編集会議(國學院大學)
- 10・11日 地域史懇話会—金澤・池田研究員(姫路市)
- 13～15日 課外活動実習受け入れ(武蔵高専)
- 13日 建築史ゼミ「美」
- 17～19日 第9次南信濃調査合宿(南信濃基幹集落センター)
- 20日 近世史ゼミ「新野村の村定め」
- 21日 豊丘村公民館リーダー研修講義
「後世に残したい日本古来の建物とその利用方法」
—金澤雄記研究員(大瀬木)
- 21日 思想史ゼミ「丸山真男『超国家主義の論理と心理』」
- 22日 近現代史ゼミ「研究集会事前検討」
- 23日 東信会総会講演「上飯田村絵図から見る東野の歴史」
—竹ノ内雅人研究員
- 23・24日 中央大学佐藤ゼミ生来所
- 24日 第3回歴史学オリエンテーション
—講師 多和田雅保調査研究員
- 26日 たばこ総合研究センター助成報告会(都内)
- 28・29日 職場体験実習受け入れ(竜東中学2年生)
- 28～30日 座光寺小学校史料調査
- 31日・8月1日 美博まつり(建築史ブース)—金澤雄記研究員

■継続調査 部奈一郎氏所蔵文書、松澤卓治氏所蔵文書、上松家所蔵文書、小林八十吉氏文書、原常吉氏所蔵文書、鎮西徹氏所蔵文書、伊豆木代田家史料、阿智村伍和木下家襖文書、下清内路小栗家襖文書、中原謹司氏史料、岡島旭家所蔵文書、今村八東氏所蔵文書、本多広文氏所蔵文書、八幡犬塚家文書、座光寺久男氏史料、岩戸久義氏所蔵文書、松田初美氏史料、田中伍市氏関係史料、千代嶋岡和治氏所蔵文書

定例研究会

研究活動促進のため、定期的に公開研究会を開催しています。

9月30日(木)「民政に見る藩政と県政」
講師：池田勇太(研究員)

場所：歴史研究所2階研修室 時間：午後2時～4時

地域史講座

飯田・上飯田の歴史

市街の8割を焼失した昭和22年4月の飯田大火。
新たな史料により敗戦直後の世相と共に考えてみます。

9月11日(土)「大火の焼け跡で再投票」
午後2時～4時

- ・講師 本島和人(調査研究員)
- ・場所 りんご庁舎3階会議室

8月・9月の催事スケジュール

8月		2010	9月	
土	美博まつり	7/31		
日		1	水	思想史ゼミ
月		2	木	
火	NL47発行 近世史ゼミ	3	金	
水	思想史ゼミ	4	土	アカデミア第59講座
木		5	日	
金		6	月	
土		7	火	近世史ゼミ
日		8	水	
月		9	木	近現代史ゼミ
火		10	金	
水		11	土	地域史講座
木		12	日	
金		13	月	
土		14	火	建築史ゼミ 思想史ゼミ
日		15	水	
月		16	木	清内路調査合宿 (東京大学)
火		17	金	
水		18	土	
木	とらっど3円座	19	日	
金		20	月	
土	研究員会議(臨時休所) 8th地域史研究集会	21	火	
日		22	水	
月		23	木	
火	近世史ゼミ	24	金	
水		25	土	
木		26	日	
金	追手町小・座光寺小調査	27	月	
土		28	火	近世史ゼミ
日		29	水	
月		30	木	定例研究会
火		31		

開所日

休所日

開所時間 午前9時～午後5時

休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日